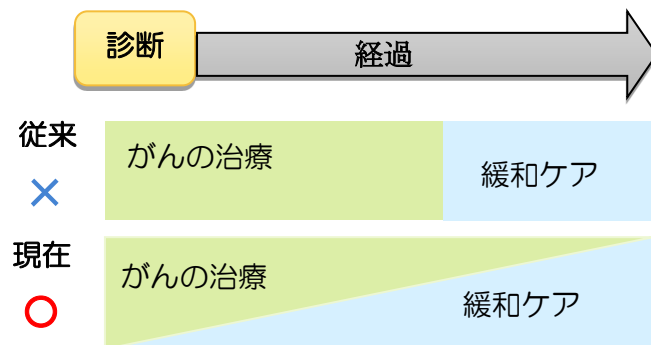


緩和ケアチームがあなたを支えます

病気の説明を受けられて、お気持ちが動揺するのは当然のことです。私たちはその不安や動揺をお聞きしながら、がん治療を受けられるあなたが、安心してこれからのことに対処していくことができるように支えます。緩和ケアチームでは、あなたが大切にしたいことを一緒に考えていきたいと思っています。

緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります

緩和ケアは、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。身体や心などのつらさが大きいと、体力を消耗することにより、がん治療を続けることが難しくなります。そのため、がんと診断されたときから、「つらさをやわらげる＝緩和ケア」を始めることが大切です。



● 看護師

・緩和ケアに関する専門的な知識や技能を持つ認定看護師がこれからの生活や心配事について一緒に考えます。

● ソーシャルワーカー

・患者さんご家族の生活全般（経済面、福祉制度、在宅療養のための転院先、訪問看護の調整）をサポートします。

● 医師

・がんの症状のコントロールについて一緒に考えていきます。

● 薬剤師

・痛みをはじめとした、さまざまな症状をコントロールするための薬について、提案や説明をします。

● 心理師

・がんに伴う不安や心のつらさについて、心の専門家がお話をうかがい、共に考えます。



● リハビリテーション

・がんの治療や症状により今までのように体が動かなくなってきたときに、残された機能を最大限に活用し生活するためのリハビリをします。

治療の主役はあなた自身です。何かお困りのこと、心配ごとがあるときは、『生活のしやすさに関する質問票』を記入するか、直接スタッフにお声かけください。

山梨厚生病院 緩和ケアチーム